



# 市会だより

第112号  
令和2年(2020年)  
12月15日発行

京都市会ホームページ 京都市会 検索

●発行 / 京都市会 ●編集 / 京都市会事務局 ●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 ●TEL.075(222)3697 FAX.075(222)3713 京都市印刷物 第026053号

## 9月市会の報告 後半 令和元年度決算を認定

京都市の厳しい財政状況のもと、昨年度の収入と支出を徹底的にチェックしました。

令和元年度決算		
一般会計	特別会計	公営企業会計
7705億円	6495億円	2474億円
合計 1兆6674億円		

市長から報告された令和元年度決算について、決算特別委員会を設置し、事業を所管する局ごとの質疑(局別質疑)や、市長・副市長等との質疑(総括質疑)における徹底的な議論を経て認定しました。

### 500億円の財源不足

来年度収支について、500億円もの巨額の財源不足が見込まれることが判明しました。

このままでは財政再生団体になりかねず、市民生活への影響を危惧している。

自助を押し付け、公務・公共サービスを後退させる政治からの転換が必要だ。

### 大型汎用コンピュータオープン化事業

平成26年度から約100億円を投じてきた事業の一部中断が明らかとなりました。

市長が政治決断として行った事業の中断について、その原因を明確にするとともに、再構築に向けた覚悟を示すべき。

行政のデジタル化を全庁体制で進めるため、人材を確保・育成すべき。

歳出構造を見直し、市民や議会の理解を得るべき。

全ての事業に対して優先順位をつけ、実施の判断を行うべき。

財政再建に向けた具体的な見直しの内容を、市長自ら決断し職員に発信すべき。

議論の一部を御紹介

高度なシステムであることに鑑み、厳しい見直しを持って取り組むべき。

**付す意見** 本市の厳しい財政状況を踏まえ、全ての事業を再点検し、全職員が一丸となって財政運営を行うこと。歳出においては、総合的に見直し、中期計画にのっとり厳格な取組を行うこと。

**付す意見** 市会からの付帯決議及び警告があったにもかかわらず、決算審議の説明においても行政の反省になっていない状況である。事業の総括を行い、損失額も含め市民に説明できる内容を、早急に議会に報告すること。

※付す意見…承認・認定した報告に対し市会から市長に意見を述べること。



### 33年ぶりの継続審査

### 市税条例の改正

個人市民税の減免措置の廃止について、福祉施策への影響や経過措置の在り方、市民への周知などの課題が明らかになったことから、今後継続して審査を行うこととしました。

### 付帯決議

### 児童生徒用タブレット型コンピュータの買入れ

ランニングコストを考え、国に対して財政措置を行うよう強く求めること。  
※付帯決議…可決した議案に付ける、市会から市長への意見や要望のこと。

※その他、常任委員会に付託された議案や議員提出議案についても審議等を行いました。 詳しい審議結果は、4面へ!

### しっかり検証

予算が適正に使われたか、市民の暮らしが良くなっているかを審査し、市会が認定(不認定)します。

9月市会  
(決算市会)

2月市会  
(予算市会)

### しっかり反映

より良い京都市にするため、市会で予算案を審査し予算を決めます。

決算について審査した結果を、今後の予算編成にいかします。

### 9月市会前半の内容は、市会ホームページへ!

補正予算の審議や代表質問など行われた9月市会前半の内容については、前号(第111号)に詳しく掲載していますので、市会ホームページなどから御覧ください。

